



岩田正巳《青夜》1957年 BSN新潟放送蔵



岩田正巳《良寛禅師》1983年 新潟日報社蔵



佐藤哲三郎《ぶどう棚の少女》1913年 個人蔵



佐々木象堂《瑞鳥置物》雪梁舎美術館蔵

新潟日報創刊80周年(創業145年)・BSN新潟放送開局70周年
新潟県展を育てた審査員たち展

2022年8月11日(木・祝)ー9月8日(木)

新潟県民会館 3階ギャラリー (新潟市中央区一番堀通町3-13)

開館時間 9:30~16:30(最終入場16:00) 休館日 8月15日(月)、16日(火)、9月5日(月)

観覧料【当日券】一般 1,000円 中学・高校・大学生 700円 小学生以下無料
【前売券】一般 800円 中学・高校・大学生 500円

プレイガイド ●新潟県民会館 ●りゅーとびあ ●インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)
※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。

主催=新潟日报社 BSN新潟放送 (公財)新潟市芸術文化振興財団

共催=新潟県 新潟市 (公財)新潟県文化振興財団 (一財)新潟日報美術振興財団

協力=知足美術館 雪梁舎美術館 大山治郎コレクション美術館

協賛=ナミックス株式会社 株式会社新潟マイホームセンター

監修=横山秀樹(美術評論家)

後援=新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 NHK新潟放送局 新潟県美術家連盟

問い合わせ=新潟日报社ふれあい事業部

〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1 TEL 025-385-7470 (土日祝を除く10:00~17:00)

新潟文化を代表する新潟県美術展覧会(以下県展)は終戦間もない1945年11月、まだ戦争の傷跡が多く残る中で、文化の灯を絶やさないと県民に明るい希望を持ってもらうことを目的に、全国に先駆けて開催されました。各分野で著名な審査員を招聘して審査が行われ、県展を通じて多くの作家が育ち、全国的に活躍するなど新潟県の美術部門を牽引してきました。新潟地震や中越地震などの災害時にも開催を続け、新潟県民に文化の希望を灯しています。

この度、新潟日報創業145年、BSN新潟放送開局70周年を記念し、県展審査員(日本画・洋画・彫刻・工芸)の作品を一堂に集め、展覧会を開催する運びとなりました。今展覧会を契機に、今一度新潟の美術や文化を見つめなおし、これからの新しい新潟の文化発展の一助となることを願っています。



安宅安五郎《芥子》雪梁舎美術館蔵

出品作家 ※県展審査員を務めた作家93人(予定)

●文化勲章受章者(文化功勞者、日本芸術院会員も含む)

山口蓬春 山本丘人 奥村土牛 東山魁夷 加山又造 橋本明治 片岡球子 松尾敏男 奥田元宋
林武 福沢一郎 小磯良平 田崎広助 吉井淳二 絹谷幸二 北村西望 富永直樹 蓮田修吾郎
帖佐美行 今井政之 大樋年朗

●文化功勞者(日本芸術院会員も含む)

郷倉和子 上村淳之 田淵俊夫 中路融人 三岸節子 脇田和 島田章三 森野泰明

●日本芸術院会員

郷倉千靱 岩田正巳 三輪晁勢 加倉井和夫 浜田台児 土屋礼一 伊藤彰耳 清水達三 西田俊英
山崎隆夫 野口弥太郎 寺坂公雄 織田廣喜 晝間弘 中里太郎右衛門

●重要無形文化財保持者(人間国宝)

佐々木象堂 田村耕一 三浦小平二

●団体所属・無所属作家

福田豊四郎 今野忠一 工藤甲人 麻田鷹司 村山径 平川敏夫 小島丹漾 森田曠平 後藤純男
下田義寛 大矢紀 平松礼二 竹内浩一 柴田長俊 小谷津雅美 松村公嗣 斎藤満栄 番場三雄
安宅安五郎 佐藤哲三郎 竹谷富士雄 笹岡了一 斎藤義重 木下孝則 小野末 桑原実 富岡惣一郎
篠崎輝夫 小林哲夫 田中稔之 渡辺徹 千野茂 矢崎虎夫 林昭三 和田雄之助 北原千鹿 小川英鳳
山脇洋二 原直樹 大須賀喬 山室百世以 辻光典 永井鐵太郎 山下恒雄 山内一生 宮田亮平

■白山公園駐車場のご案内



■会館のご案内



白山公園駐車場のご案内

- 白山公園駐車場A.B.C.D合わせて約580台
- ※身障者用駐車場スペースを用意しております。
- ※新潟県民会館には専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は左記の白山公園駐車場(有料)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会館のご案内

- 新潟駅万代口より車で15分
- 磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
- 新潟駅万代口よりバスで15分～20分
萬代橋ライン(BRT)青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分
- 新潟空港より車で30分